

【メモリ内の構成】



USBメモリ内は、まず以下の3つのフォルダーが表示されます。

- A 冊子版100枚プリント第18集：俳句をよもう 全内容データ
- B 増補課題データ
- C 関連資料

A～Cの各フォルダー内は、それぞれ以下のような構成です。

●「A 冊子版100枚プリント第18集：俳句をよもう 全内容データ」内の構成

*巻頭データ

- 解説 ○俳句の基本知識 ○課題Ⅰ・Ⅱの使い方
- 「課題Ⅲ 俳句をよもう」の組み立てと使い方 ○「俳句をよもう」について
- 「課題Ⅲ 俳句をよもう」テキストリスト

- 課題Ⅰ 俳句のことばを考えよう 全15課題
- 課題Ⅱ ことばをむすんで俳句を作ろう 全5課題
- 課題Ⅲ 俳句をよもう 全80課題



●「B 増補課題データ」内の構成

- 課題Ⅰ 俳句のことばを考えよう 全15課題＋問題リスト
- 課題Ⅱ ことばをむすんで名句を作ろう 全5課題＋問題リスト
- 課題Ⅲ 俳句をよもう 全73課題＋テキストリスト

●「C 関連資料」内の構成

- *ことばのテーブル第13回学習会「俳句について考えるⅠ」
 - はじめに ○配布レジュメ資料 ○スライド資料
- 第17回学習会「発音とプロソディについて考えるⅠ」
 - はじめに ○配布レジュメ資料 ○スライド資料

【増補課題データについての解説】

◎今回の増補版では、以下の各課題について、新しい問題を収録しています。課題Ⅰ～Ⅲそれぞれのフォルダー内に、問題リスト・テキストリストもあります。

○課題Ⅰ 「俳句のことばを考えよう」

冊子版プリント集では、上句・中句・下句の各句を補充する課題でしたが、増補版では、補充する箇所を広げ、上句＋下句、上句＋中句、中句＋下句のことばを考える課題になっています。

○課題Ⅱ 「ことばをむすんで名句を作ろう」

上句・中句・下句を結んで名句を作る課題です。今回は完成すると小林一茶の名句ができるようになっています。できあがる一茶の句については、問題リストに記載しています。

○課題Ⅲ 「俳句をよもう」

春・夏・秋・冬(暮・新年含む)の4つの季節を題材とした名句鑑賞・俳句自作の課題60問と、季語一覧から季語を選んで俳句を作る季語選択課題13問を新しく収録しています。

《季語選択課題について》

季語は旧暦から新暦への転換や、社会生活の変化、地球温暖化などの影響により、現在の季節感と合わないものが増えてきています。【例：潮干狩(春の季語)、苺(夏の季語)、朝顔(秋の季語)、七五三(冬の季語)】

事物に対する現代の子どものイメージを尊重して、今回の課題では、春から夏、夏から秋、秋から冬、暮・新年、冬から春、と季節を大きく区切って、季語をまとめています。(※各季語がどの季に分類されているかについては、俳句歳時記等でご確認ください。)

◎関連資料について

ことばのテーブル学習会の中で、俳句と関連する回の資料を収録しました。俳句学習の参考資料としていただければと思います。